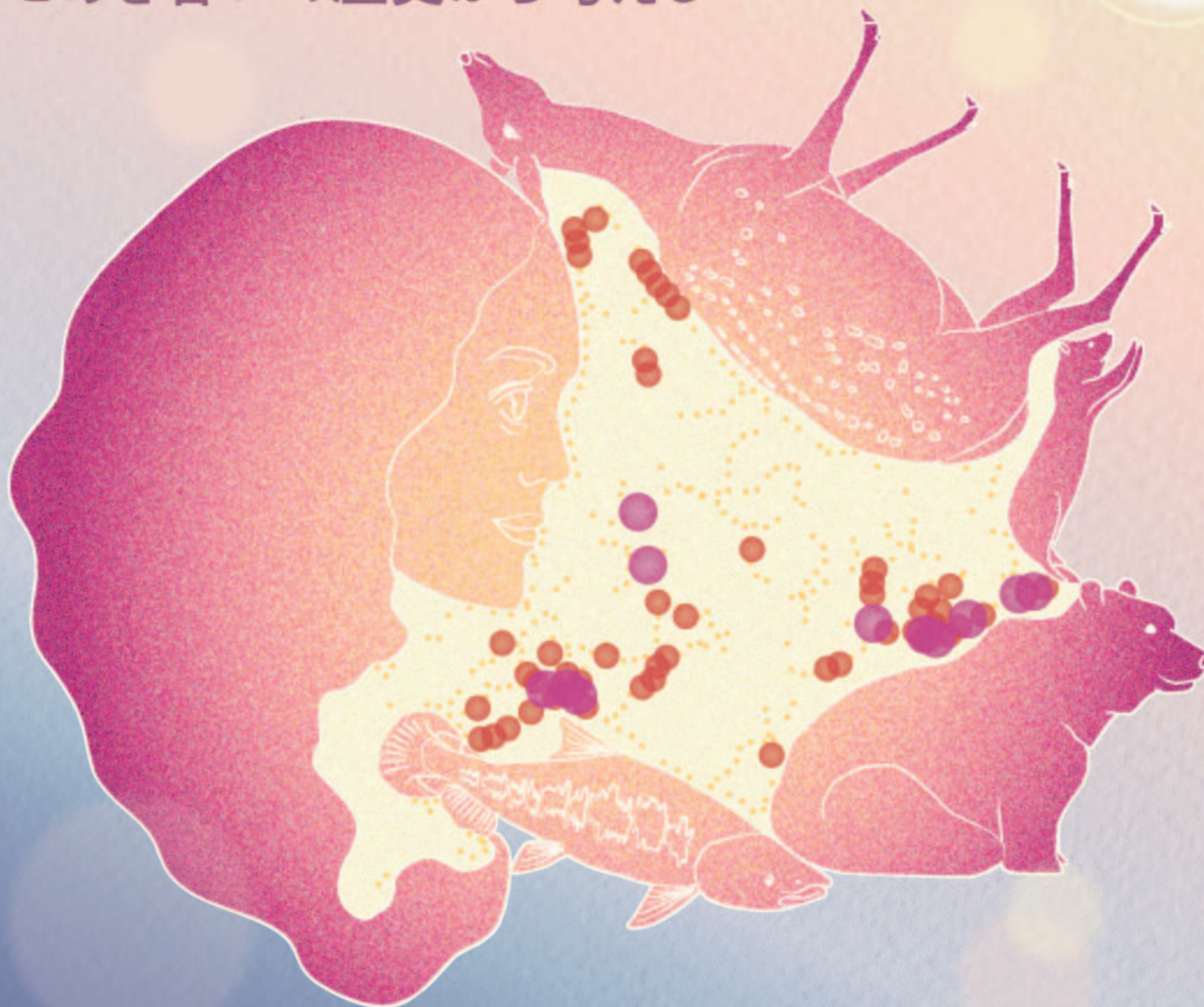


日本生態学会 第28回公開講演会

# 人と野生動物の共存

せめぎ合いの歴史から考える

参加費  
**無料**  
事前登録不要



日時：2025年3月15日(土) 13:00～15:30

会場：札幌コンベンションセンター特別会議場 (札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)

会場までの詳しいアクセスはこちら→



1：揺れ動く「共存」の考え方：北海道のヒグマ管理の例

北海道立総合研究機構 日野貴文

2：過去10万年にわたるシカ個体数の変化と人との関係

森林総合研究所 飯島勇人

3：アイヌ民族による野生動物利用

文化庁 / 国立アイヌ民族博物館 内田祐一

4：科学コミュニケーションが促す市民の対話

RCE 北海道道央圏協議会 / Co.DESIGN 有坂美紀

5：パネルディスカッション

パネラー：札幌市 清尾崇

NPO 法人 EnVision 環境保全事務所 早稲田宏一

その他の  
一般向けイベント  
はこちら♪

詳しくは裏面を  
ご覧ください→

参加費  
無料

## みんなのジュニア 生態学講座

対象：中学生～大学生  
日時：2025年3月15日(土)  
16:00-17:30  
場所：同会場 中ホール

## こども生態学講座

対象：小学生～中学生  
日時：2025年3月16日(日)  
9:00-12:00, 14:00-17:00  
場所：同会場 107室

参加費  
¥1000

主催：日本生態学会第72回全国大会

後援：北海道、公益財団法人アイヌ民族文化財団



# 1 揺れ動く「共存」の考え方:北海道のヒグマ管理の例

日野 貴文

北海道立総合研究機構



野生動物との「共存」に賛成する人は多いでしょう。しかし、「共存」とはどのような状態を指すのかは、人によって解釈が異なり、時代によっても変わります。講演会全体の導入として、ヒグマの管理政策とヒグマの生息状況の移り変わりを紹介します。

# 2 過去10万年にわたるシカ個体数の変化と人との関係

飯島 勇人

森林総合研究所



ニホンジカ（エゾシカを含む）のDNAを解析することで、人間の捕獲活動がニホンジカの個体数を変動させた可能性を示す研究を紹介します。人とニホンジカの長いせめぎ合いの関係を歴史的な視点で振り返ります。

# 3 アイヌ民族による野生動物利用

内田 祐一

文化庁 / 国立アイヌ民族博物館



アイヌ民族の伝統的な生活は、不確定要素の多い自然を相手にし、常に生命の危機にさらされるリスクを伴うものでした。「自然と共存してきたアイヌ民族」といったステレオタイプにとらわれず、さらに深く考えるための話題を提供します。

# 4 科学コミュニケーションが促す市民の対話

有坂 美紀

RCE 北海道道央圏協議会 / Co.DESIGN



「野生動物との共存」に対して異なるイメージを持つ市民同士が、どう歩み寄り、共通認識を形成できるかについてお話しします。その対話の場に専門家（科学者）が参加する重要性についても話題提供します。

# 5 パネルディスカッション

パネラー: 早稲田 宏一

NPO法人EnVision 環境保全事務所



学生時代にヒグマの生態調査に関わり、その後野生動物の調査研究、被害対策に従事。2010年から札幌市の市街地に出没するヒグマ・エゾシカ対策に携わる。狩猟者でもあり、野生動物の普及啓発活動にも取り組んでいる。

パネラー: 清尾 崇

札幌市



札幌市出身。北海道大学理学院化学専攻修士課程を卒業後、衛生職として札幌市に入庁。下水処理施設や保健所を経て、2021年4月から環境局環境共生担当課に配属され、ヒグマやエゾシカの対策に従事している。

日本生態学会第72回全国大会の  
一般向けイベントはこちら♪

## みんなのジュニア生態学講座 若手研究者との交流会

対象: 中学生~大学生

定員: 150名

日時: 2025年3月15日(土)16:00-17:30

会場: コンベンションセンター(中ホール)



研究者とはどんな職業だろう。生態学者は何を研究しているのだろう。環境や生物に興味を持っている学生を対象に、研究者3名が自分たちの研究や学生の頃に考えていたこととお話しします。講演の後には自由に交流できる座談会も行います。



本郷 峻(地球研・京都大学)  
流れるままに保全研究



木下 千尋(イラストレーター)  
博士号をとって  
イラストレーターになった



松本 哲也(茨城大学)  
「いきものオタク」は  
研究者に向いているか?

参加費

無料

事前登録不要

## こども生態学講座 ゲームで学ぶ!? 地球環境

参加費

¥1000

事前登録制

対象: 小学生~中学生※1

定員: 20名(先着順)

日時: 2025年3月16日(日)

9:00-12:00、14:00-17:00※2

会場: コンベンションセンター(107室)

※1 小学1~3年生は保護者同伴を推奨

※2 午前・午後の内容は同じ

炭素になって地球をめぐるゲームや、文字迷路、生き物クイズに挑戦しながら、地球環境のことを楽しく学んでみませんか!?

